


# あれこれいのち

2024年9月7日(土)から  
12月1日(日)まで



展覧会ディレクター  
近森基+小原藍(plaplax)

企画協力  
鷺谷いづみ

 安曇野ちひろ美術館



い  
わ  
さ  
き  
ち  
ひろ  
ぼ  
つ  
ご  
50  
ね  
ん  
し  
と  
も  
の  
み  
な  
ら  
お  
ま  
へ



# いわさきちひろ ぼつご50ねん こどものみなさまへ あれこれいのち

いわさきちひろ ぼつご50ねん こどものみなさまへ  
展覧会スケジュール

## あ・そ・ぼ

2024年3月1日(金)～6月2日(日) 安曇野ちひろ美術館  
6月22日(土)～10月6日(日) ちひろ美術館・東京

## みんななかまよ

6月8日(土)～9月1日(日) 安曇野ちひろ美術館  
10月12日(土)～2025年1月31日(金) ちひろ美術館・東京

## ★あれこれいのち

3月1日(金)～6月16日(日) ちひろ美術館・東京  
9月7日(土)～12月1日(日) 安曇野ちひろ美術館

展覧会特設サイト

<https://chihiro.jp/2024kodomom>



## ちひろから、いまのこどもと、 かつてのこどものみなさまへ――

2024年はいわさきちひろの没後50年。  
半世紀のときを超えて、ちひろの絵が語りかけてくるものとは……？  
「あそび」「平和」「自然」の3つのテーマから、  
現代科学の視点も交えて、ちひろの絵を読み解きます。  
3会期目のテーマは「自然」。

子どもも大人も見ただけでなく参加したくなる、  
今までにないちひろの展覧会です。

### いわさきちひろ (1918～1974)

福井県武生(現・越前市)に生まれ、東京で育つ。東京府立第六高等女学校卒業。藤原行成流の書を学び、絵は岡田三郎助、中谷泰、丸木俊に師事。第二次世界大戦後、紙芝居や教科書、絵雑誌、絵本など子どもの本を中心に画家として活躍。生涯にわたって子どもや花を描き続けた。1974年没、享年55。現存する作品は約9600点。



### 展覧会ディレクター

#### 近森基+小原藍 (plaplaX)

インタラクティブな作品制作を軸に、展覧会の展示構成、空間演出、映像コンテンツの企画制作など幅広く活動する。さまざまな手法やメディアを使って、創造的な学びや発見のある体験づくりに取り組む。2018年、「いわさきちひろ生誕100年『Life展』あそび plaplaX」をちひろ美術館で開催。



無垢な子どもたち、美しい自然、平和への願い。  
これらは、ちひろさんが生涯を通して描いたテーマです。

没後50年にあたる1年間、改めてこのテーマと向き合おうとしたとき、〈科学の目〉を通してみることを考えました。とはいえ難しい知識や情報を駆使するわけではありません。目の前のものの“ありのまま”をよく見て受け止め、そこから出発する。科学の目は、特別な人が難しいことを考えるためのものではなく、だれもが見慣れた風景を、新たな発見にあふれた豊かな世界に変化させるまなざしだと思ったのです。本来子どもたちは、そんな風に世界を見つめているかもしれません。

会場で作品を見たり触れたり、体を動かしたり。子どもも大人も「わあ！これはなんだ？」とわいわいっしょになって進んでいく。そんな展覧会のあり方を目指しました。

### 「あれこれいのち」展 企画協力

#### 鷲谷いつみ(東京大学名誉教授/生態学、保全生態学)

理学博士。みどりの学術賞、日本生態学会功労賞などを受賞。筑波大学、東京大学、中央大学で生態学・保全生態学の研究と教育に従事した。主な著書は、『につぼん自然再生紀行』、『さとやまー生物多様性と生態系模様』、『生物多様性入門』など。



生物多様性条約の世界目標は「自然との共生」。遠い昔からのヒトと自然との共生の場であったのに今はほとんどが失われた「野」。絶滅危惧種を含む野の花やワラビに子どもたちが親しむ情景が描かれた貴重な絵を鑑賞し、実物の植物がつくる小さな空間「共生の庭」で実感していただければと思います。ちひろさんの絵の魅力をひきかたてている紫色は、生態系における植物が動物と共生関係を結ぶために進化させた花や熟した果実の色。赤から青までの濃淡さまざまな紫色を、共生の色として感性と知性で楽しむ展示もできればと思います。

### 図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。※掲載紙/誌をご送付ください。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

安曇野ちひろ美術館

[chihiro.jp](http://chihiro.jp)



お問い合わせ

広報担当 田邊・山本・松本

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24

TEL.0261-62-0773(業務用) FAX 0261-62-0774

E-mail : [apublicity@chihiro.or.jp](mailto:apublicity@chihiro.or.jp)



いわさきちひろ ぼつご50ねん  
こどものみなさまへ  
あれ これ いのち

2024年9月7日(土)～12月1日(日)

安曇野ちひろ美術館  
展示室1・2・3・4・多目的ギャラリー

主催：ちひろ美術館  
展覧会ディレクター：近森基+小原藍 (plaplax)  
企画協力：鷺谷いつみ  
協力：ふじのくに地球環境史ミュージアム  
後援：絵本学会、(公社)全国学校図書館協議会、(一社)日本国際児童図書  
評議会、日本児童図書出版協会、信濃毎日新聞社、市民タイムス、abn長野  
朝日放送、長野エフエム放送株式会社



1 いわさきちひろ ぶどうを持つ少女 1973年

あれ？ とたちどまってみる。  
これ！ とみつけてみる。  
あれこれ「いのち」をかんがえてみる。

いわさきちひろは、野の草花や小さな生きものを大切に描いています。それらの絵には、心のふるさとであった信州の豊かな自然が感じられます。

ちひろが絵を描いていた50年以上前、日本は高度経済成長期のまっただなかでした。各地で野山が切り開かれ、川や水辺がコンクリートで固められ、それまで見られた草花や生きものも減っていきました。

ちひろは、「私は私の絵本のなかで、いまの日本から失われたいろいろなやさしさや、美しさを描こうと思っています」と語っていました。そこには、開発が進むなか、自分が愛した自然を子どもたちに残したいという願いが込められていたのかもしれません。

本展では、ちひろの絵のなかの草花や生きものたちを、安曇野の自然とともに見つめます。生態学の視点やアートユニットplaplaxによるインタラクティブな作品を取り入れ、いろいろな「いのち」となかよく生きるにはどうしたらよいかを楽しく考えます。

## 展覧会の見どころ

### 1 ちひろの絵に描かれた「自然との共生」

ちひろの絵には、日本で古くから親しまれてきた秋の七草や、小鳥や蝶などの野の生きものたちが描かれています。ちひろが描いた野の生きものたちや、紫色などに着目し、まるで道草をするように、あれこれ楽しみながら人と自然との共生について考えます。

### 2 美術館の外にも出よう！

昨秋から美術館の中庭に「共生の庭」をつくり、ちひろの絵に登場するワラビやフキ、キキョウやナデシコなど、野の草花を育てています。小さな「共生の庭」から、安曇野の自然や未来に思いを広げ、自然となかよくする方法をみんなで考えます。



2 いわさきちひろ ゆびきりをする子ども 1966年



3 いわさきちひろ ききょうと子どもたち 1967年



4 いわさきちひろ 秋の花と子どもたち 1965年



5 いわさきちひろ  
木の葉にすわる子ども 1966年

## 図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。

※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。

※掲載紙/誌をご送付ください。



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

安曇野ちひろ美術館

chihiro.jp



お問い合わせ

広報担当 田邊・山本・松本

〒399-8501 長野県北安曇郡松川村西原3358-24

TEL.0261-62-0773 (業務用) FAX 0261-62-0774

E-mail : apublicity@chihiro.or.jp

展覧会の見どころ

3 野を楽しむplaplaxの作品も展示

白いスクリーンに指で線を描くと、虫や鳥、草花など、ちひろの絵のなかの小さないきものが現れる新作《あちこちスケッチ》、草葉でつくった生きものが切株の上で動き出す《On the Stump～ver.野あそび》、光の水たまりに入ると水の波紋が揺れて広がる《Water Pocket》など、plaplaxによる野を楽しむインタラクティブな作品も展示します。



6 plaplax あちこちスケッチ 2024年

7 plaplax Water Pocket 2014年



8 plaplax On the Stump～ver.野あそび 2024年



9 ワークショップスペース みんなの[の]

同時開催

ちひろ美術館コレクション  
野のいのち

2024年9月7日(土)～12月1日(日)

安曇野ちひろ美術館 展示室5 主催：ちひろ美術館

「ぼつご50ねん こどものみなさまへ あれこれいのち」にちなみ、ちひろ美術館コレクションのなかから身近ないのちを描いた作品を展示します。

瀬川康男が描く『虫のわらべうた』は、虫が登場するわらべうたを集めた絵本。トンボやホタル、バッタ、ミズスマシなどの虫が登場します。繰り返し野の草花や虫たちをデッサンしてつかんだという線や模様で、美しく緑取られた虫たちの姿に、思わず目をうばわれます。

世界各国の画家が描いた、いのちの作品をご覧ください。



10 瀬川康男「虫のわらべうた」(福音館書店)より 1986年

図版について

本リリースに掲載されている図版データを、プレス貸し出し用にご用意しています。

ご希望の方は、別紙「広報用作品画像データ貸出依頼書 兼 借用誓約書」をご覧ください。

※必ず絵のそばに作家名・作品タイトル・制作年を明記してください。

※トリミングや文字が絵にかかるようなレイアウトはご遠慮ください。

※データ等チェックのため、校正段階で原稿をお送りください。

※掲載紙/誌をご送付ください。



## 「あれこれいのち」展関連イベント

plaplast (近森基+小原藍) × 鷺谷いづみによる  
オープニングギャラリートーク

日時：9月7日(土) 10:45～11:30

参加費：無料(入館料別) / 定員：20名(先着) / 申し込み：不要

「あれこれいのち」展の展覧会ディレクター近森基+小原藍(plaplast)と企画協力者の鷺谷いづみ(東京大学名誉教授)による、スペシャルなギャラリートークです。

## 鷺谷いづみ先生とげんごろう博士の特別実習授業

## 「あれこれいのち 水辺の調査隊 IN まつかわ」

共催：松川村図書館 協力：WWFジャパン

日時：9月28日(土) 13:30～16:00

講師：鷺谷いづみ、西原昇吾(中央大学保全生態研究室)

久保優(WWFジャパン)

会場：安曇野ちひろ美術館(共生の庭)、松川村の水辺

参加費：500円(入館料別) / 対象：小・中学生と保護者

定員：30名 / 申し込み：要事前予約(公式サイト、TELにて)

鷺谷先生とげんごろう博士といっしょに、松川村の水辺を調査しよう！どんな生き物に会えるかな？

鷺谷いづみ先生とげんごろう博士、  
WWFジャパンといっしょに考えよう！

## 「安曇野まつかわ村の野と水辺」

共催：松川村図書館 協力：WWFジャパン

日時：9月29日(日) 13:30～15:30

講師：鷺谷いづみ、西原昇吾、久保優、松本猛

会場：松川村・すずの音ホール

参加費：大人1000円、18歳以下・高校生以下無料

定員：200名 / 申し込み：要事前予約(公式サイト、TELにて)

鷺谷いづみによる講演と対話の集いを行います。わたしたちが暮らす安曇野の草花や生き物たちに目を向けて、自然との共生について考えてみませんか？

## 親子で楽しむギャラリートัวร์

日時：11月3日(日・祝) 11:00～12:00

参加費：無料(入館料別) / 定員：親子10組

対象：小学生と保護者

申し込み：要事前予約(公式サイト、TELにて)

あかちゃんとおでかけしよう！  
ファーストミュージアムデー

日時：11月19日(火) 10:00～11:00

参加費：無料(入館料別) / 定員：親子10組 / 対象：0～2歳児と保護者

申し込み：要事前予約(公式サイト、TELにて)

あかちゃん絵本の読み聞かせや展覧会の作品鑑賞ツアーを親子でいっしょに楽しみましょう。

## ギャラリートーク

日時：9/21(土)・10/19(土)・11/16(土) 14:00～14:30

参加費：無料(入館料別) / 定員：20名 / 申し込み：不要

## その他のイベント

おとなりの国の絵本と文化を楽しもう！

## ① 絵本の読み聞かせ 共催：松川村図書館

日時：2024年10月12日(土) 14:00～15:00

場所：安曇野ちひろ美術館 絵本の部屋

参加費：無料(入館料別) / 定員：30名

申し込み：要事前予約(公式サイト、TELにて)

※当日受付可(定員になり次第終了)

講師：崔寧純(チェ・ヨンスン、長野県在住 韓国語・韓国料理講師)

KBBY (IBBY (国際児童図書評議会) 韓国支部) より寄贈いただいた選りすぐりの韓国の絵本から、みんなで、読み聞かせ(韓国語と日本語)と手遊びを楽しみましょう！崔さんによる韓国の文化の紹介や、韓服(チマチョゴリ)体験もできます。

## ② 韓国料理体験 共催：松川村図書館

日時：2024年10月19日(土) 10:00～12:00

場所：松川村・すずの音ホール 調理室 / 参加費：実費

定員：10名 / 申し込み：要事前予約(松川村図書館TEL.0261-62-0450

火曜日休館) / 講師：崔寧純(チェ・ヨンスン)

おいしくて健康にもよい韓国の家庭料理を、崔さんから教えていただきます。調理の合間に、韓国の生活のようすなども伺います。

## 絵本のじかん

日時：9月14日(土)、10月5日(土)、11月2日(土) 11:30～12:00

参加費：無料(入館料別) / 定員：20名 / 申し込み：不要

## ちいさなおはなしの会 at 絵本カフェ

日時：10月14日(月・祝) 11:00～

参加費：無料(入館料別) / 定員：20名 / 申し込み：不要

## 長野県民感謝デー

日時：12月1日(日) 10:00～17:00

日頃の感謝を込めて、長野県にお住まいの方は、入館が無料になります。今年の開館最終日、ぜひ、ご来館ください。※受付でご住所のわかるものをご提示ください。

## 展覧会基本情報

展覧会名	いわさきちひろ ぼつこ 50ねん こどものみなさまへ あれこれいのち 同時開催：ちひろ美術館コレクション展 野のいのち
------	---

会期	2024年9月7日(土)～12月1日(日) ※会期は予告なく変更になる場合があります。 ○開館時間＝10:00～17:00 ○休館日＝水曜日(祝休日は開館、翌平日休館)
----	---

入館料	大人1200円 / 18歳以下・高校生以下無料 団体(有料入館者15名以上)、65歳以上、学生の方、18歳以下の子どもに同伴する保護者(子ども1名につき2名まで)は900円 / 障がい者手帳ご提示の方とその介添えの方(1名)は無料 / 年間パスポート3000円
-----	---

交通	○電車の場合＝JR大糸線信濃松川駅より約2.5km (タクシー5分、レンタサイクル15分、徒歩30分) ○車の場合＝長野自動車道安曇野I.C.より約30分
----	---

\*最新のイベント情報は公式サイトでご案内しています。

※イベントおよび開館情報、会期、展示名は予告なく変更になる可能性があります。最新情報につきましては、公式サイトをご覧ください。お問い合わせください。